

## 桜島の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

昭和火口では、5月30日20時23分に爆発的噴火<sup>1)</sup>が発生し、噴煙が火口縁上2,500mまで上がり、南東方向に流れました。

昨日(5月31日)実施した降灰調査及び電話による聞き取り調査では、火口の東方向にあたる桜島黒神町から宮崎県串間市に至るまでの範囲で降灰を確認しました。

昭和火口及び南岳山頂火口から1kmの範囲では、大きな噴石に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。

降雨時には土石流に注意が必要です。

### ○活動概況

#### ・噴火の状況(図1)

昭和火口では、5月30日20時23分に爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上2,500mまで上がり、南東方向に流れました。また、弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目(昭和火口から500~800m)まで達しました。昭和火口で爆発的噴火が発生したのは4月9日以来です。

#### ・降灰の状況(図2、3)

昨日(5月31日)、鹿児島地方气象台と宮崎地方气象台が実施した降灰調査及び電話による聞き取り調査では、火口の東方向にあたる桜島黒神町から宮崎県串間市に至るまでの範囲で降灰を確認しました。

1) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または气象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としています。

※この資料は気象庁のほか、九州地方整備局大隅河川国道事務所のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平20業使、第385号)。この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)で閲覧することができます。



図1 桜島 5月30日20時23分の爆発的噴火

- ・噴煙が火口縁上2,500mまで上がり、南東方向に流れました。
- ・大きな噴石が5合目（昭和火口から500～800m）まで達しました。

\*九州地方整備局大隅河川国道事務所設置の黒神川1号ダム上流右岸（昭和火口から東北東約3.5km）の高感度カメラによる

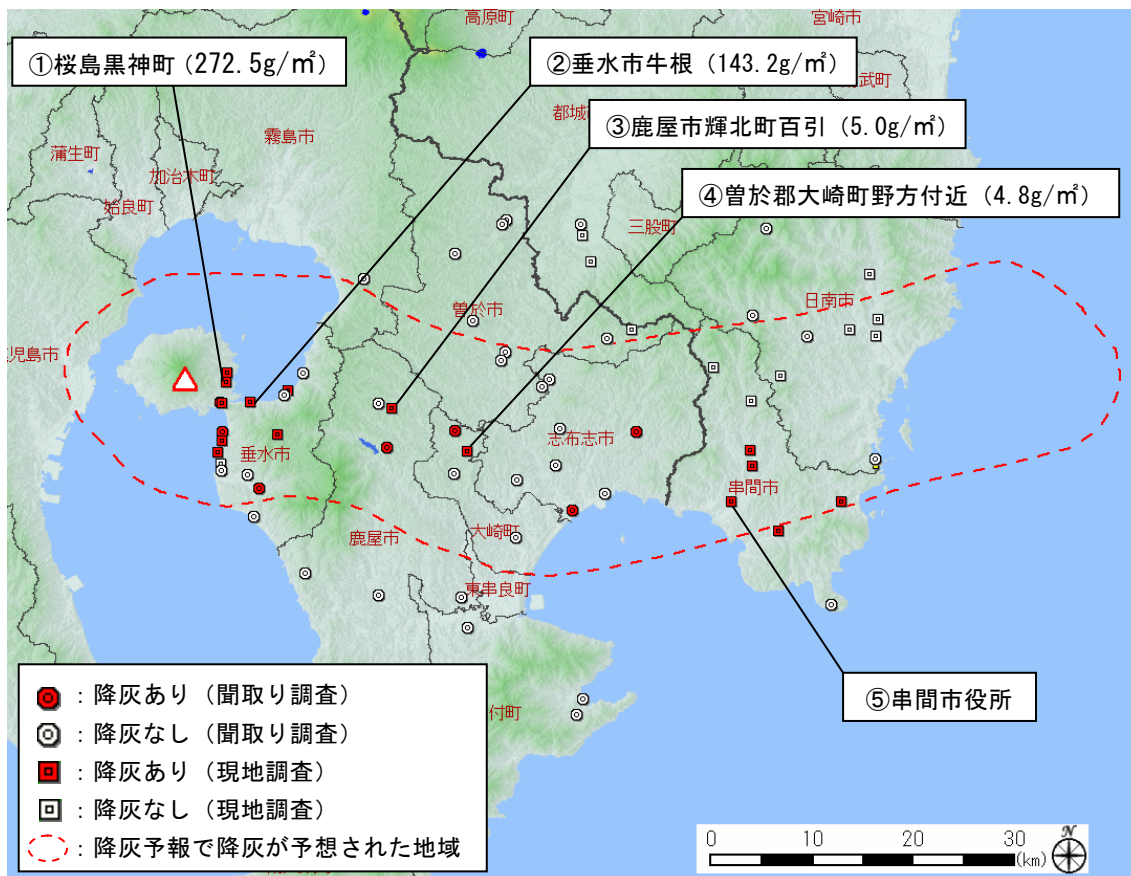


図2 桜島 5月30日の噴火に伴う降灰分布と降灰予報で降灰が予想された地域

- ・火口の東方向にあたる桜島黒神町から宮崎県串間市に至るまでの範囲で降灰を確認しました。

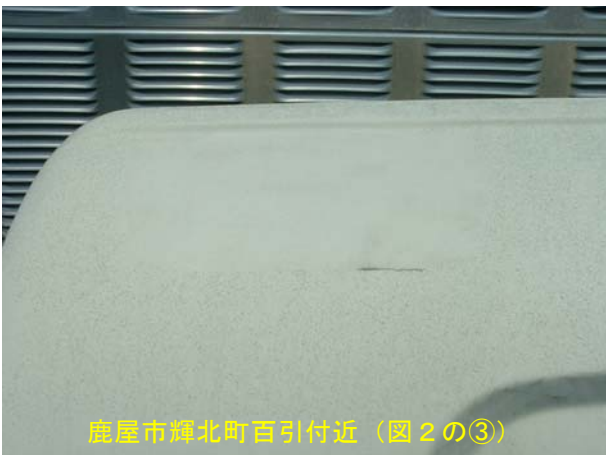


図 3 桜島 降灰の状況